



令和4年度 第3学期始業式 校長講話 R5.1.6 (金)

皆さん、おはようございます。新しい年が明けました。
今年もよろしく申し上げます。

さて、今年の干支は卯（うさぎ）です。

卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれ、他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年とされています。

皆さんも是非、何か新しいことに挑戦してほしいと思います。

ちなみに、うさぎ年生まれの著名人には

1963年生まれ・・・唐沢寿明（俳優）、浜田雅功（お笑い）、松本人志（お笑い）

1975年生まれ・・・谷亮子（柔道家）、aiko（歌手）、米倉涼子（女優）

1987年生まれ・・・長澤まさみ（女優）、水ト麻美（アナウンサー）、

1999年生まれ・・・橋本環奈（女優）、永野芽郁（女優）

さんらがいらっしゃいます。

また、卯年生まれの人の特徴は、もの静かで行儀がよく、上品で繊細と言われます。一般的に静かで落ち着いた生活を好む傾向があるそうです。皆さんの周りにいる卯年生まれの人はどんな人なのか確認しても面白いかもしれません。

それでは、2学期の終業式では「凡事徹底」について話をしましたが、

今日は「休眠打破」という言葉を紹介します。

これは、休眠状態にある種子や球根などが、ある特定の刺激を受けたのち、活動状態になることを言います。例えばサクラです。

寒い日が続いていますが、この寒さが厳しいからこそ、サクラの咲く春がうれしく感じられます。

春に咲くサクラの花芽（かが）（花のめです）は、前年の夏に作られます。そして、その後、冬眠のような「休眠」という状態になります。休眠した花芽は、一定期間、低温にさらされることで、眠りからさめ、開花の準備を始めます。これを「休眠打破」といいます。休眠打破は、この秋から冬にかけて一定期間、低温にさらされることが重要なポイントです。つまり、寒さにさらされないときれいなサクラが咲かないということなのです。

そして、春をむかえ、気温が上昇するにともなって、花芽は成長「生成」します。気温が高くなるスピードにあわせて、花芽の生成も加速します。生成のピークをむかえると「開花」することになります。

このように、サクラの花芽の「休眠」・「休眠打破」・「生成」・「開花」は、秋から冬にかけての気温と春先の気温に、大きく関係しているということです。

冬のない常夏の国では、日本のサクラは、美しく咲かないそうです。サクラは、四季のある美しい日本の国で進化した植物ということなのです。

なるほどと思うと同時に、人間にもある程度の「寒さ」が必要なのかなと思います。それは、試練とか、困難とか、苦勞とかにあたるのかなと思います。それを、乗り越え、「休眠打破」しないと花は咲かない。この「寒さ」から逃げないで、いかに頑張るかでどんな花が咲くかが決まってくるように思います。

3年生は今こそ咲かせる時です。美しいサクラを咲かせてください。

また1・2年生は、今年目標を定め、しっかりその目標に向かって準備をし、努力をすることできっと「休眠打破」し、一回りも二回りも成長した新学年を迎えられると思います。

最後に、今日から学校が始まりますが、コロナ感染状況については皆さんも知っているとおりで。全体的にも部活動での集団感染や家庭内感染も増加しています。また、インフルエンザも流行し始めました。手洗い、密の回避、換気、部室の使い方、食事の際の注意など基本的な感染予防の徹底をお願いします。改めて、緊張感をもって学校生活を送ってください。

それでは、今年が皆さんにとっても越谷南高校にとっても輝かしい一年になることを祈念して挨拶とします。

